令和４年１１月７日　　鈴鹿市立稲生幼稚園

No.5　あかるく　たのしい　いのうようちえん

朝夕ようやく寒くなり秋の深まりを感じるころとなりました。

１０月２６日（水）の幼稚園運動会に向けて園児たちは，みんなと少しずつ踊りの振り付けを覚えたり，隊形移動の仕方を覚えたりしながら，みんなで一つの目的に向けて力を合わせて取り組む経験をしました。運動会の最後に，２クラス合同で保護者の前で踊りを披露して努力してやり遂げる喜びを味わうことができました。

また，クラス別で４歳児は玉入れを，５歳児は忍者の修業をテーマにした障害物競走をしました。親子競技では，５歳児は親子でバランスをとりながらケーキに見立てた箱を運ぶ競技を，４歳児は親子でネズミになってお餅を引っ張り合う競技をしました。

昨年度の運動会は，感染防止策を優先した内容でしたが，今年は感染防止対策を行った上で，少し競技数を増やして内容も以前に近いものとなるように工夫して行いました。運動会に向けて，走る，投げる，バランスをとる，引っ張る，リズムに合わせて動くなどを，楽しみながら行うことで幼児期の子どもたちの身体機能を高めることにつながっています。ようやく少しずつではありますが，

コロナ禍以前のようにこの時期にふさわしい活動ができるようになってきたことは喜ばしいことです。

運動会の準備やリハーサルなどＰＴＡ役員の皆様には大変お世話になりありがとうございました。当日は，平日にもかかわらずご参加いただいた保護者の皆様，そして温かく見守っていただいた稲生小学校の職員の皆様，児童の皆様，本当にありがとうございました。

１０月３１日（月）に稲生農地水環境を守る会の皆様が育てたコスモス畑に行ってきました。５歳児は去年も訪れたことを思い出して，「お花いっぱいとってもいいの？」とワクワクしながら畑へ向かいました。４歳児はコスモス畑が見えてくると「すごーい」「きれい！」と，びっくりしたり，自分の背より高いコスモスの花に囲まれながら「これ持って帰る」と花を摘んだりして秋の自然を満喫していました。持ち帰ったコスモスの花を５歳児はそれぞれが工夫して水を入れた容器に飾って楽しんでいました。

幼稚園に戻り給食を済ませると，ＰＴＡ役員の方が魔女に扮して絵本を読んだり，お菓子を配ってくれたりして，ハロウィン会も楽しみました。

いつも幼稚園の子ども達のためにお力を貸していただいている地域の皆様や保護者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいになった１日でした。